

報道関係各位

2023年12月8日

産業技術総合研究所のディープテック人材育成事業 「覚醒プロジェクト」本年度の採択者が決定

AI技術やバイオインフォマティクスの活用で社会課題解決に挑む
大学院生を中心とした11件の研究テーマを採択、伴走支援を開始

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、国立研究開発法人産業技術総合研究所のディープテック研究人材育成事業「覚醒プロジェクト」が、本年度の研究開発者を採択したことをお知らせします。

角川アスキー総合研究所は、産業技術総合研究所より受託した業務実施機関として本事業を推進します。



「覚醒プロジェクト」は、若手人材が産業技術総合研究所の保有する先端的研究設備などを活用することで、ディープテック分野における独創的かつ斬新な研究開発を推進し、社会課題解決にチャレンジするプロジェクトです。

今年度はAI技術やバイオインフォマティクスを活用した研究テーマを募集し、厳正な審査の結果、先進的で独創的な11件（総数18名）を採択しました。

採択されたテーマの研究実施者は、本事業のプロジェクトマネージャー(PM)やスーパーバイザー(SV)の伴走支援、300万円の支援、そしてAI橋渡しクラウド(ABCI)などの産業技術総合研究所が保有する研究環境の提供を受けながら、研究を推進していきます。

※ディープテックとは、事業化あるいは社会実装を実現できれば、社会課題の解決など社会に大きなインパクトを与える潜在力のある科学的な発見や、革新的な技術開発を指します。

PM・SV一覧

それぞれの研究実施者に伴走・アドバイスするプロジェクトマネージャー(PM)、および本事業全体に対して助言いただくスーパーバイザー(SV)は、以下の方々です。

SV	松原 仁	東京大学次世代知能科学研究センター・教授
SV/PM	大西 正輝	産業技術総合研究所 人工知能研究センター・社会知能研究チーム長
PM	牛久 祥孝	オムロンサイニックエックス株式会社・プリンシパルインベスティゲーター
PM	瀬々 潤	ヒューマノーム研究所・代表取締役社長
PM	金崎 朝子	東京工業大学 情報理工学院・准教授
PM	谷中 瞳	東京大学大学院 情報理工学系研究科・准教授（卓越研究員）
PM	井本 桂右	同志社大学 理工学部・准教授

採択者・研究テーマ・担当PM

研究実施者	所属	研究テーマ	担当PM
大村 拓登	東京大学大学院	タンパク質の高精度シミュレーションに向けた、大規模データセットの作成と量子化学的性質を反映した機械学習モデルの開発	瀬々 潤
助田一晟 澤野 晋之介	東京大学大学院	JMed-LMM：医療分野における大規模マルチモーダルモデルの開発	
中里 朋楓	東京大学大学院	透明性向上のための偽情報や誤情報の流通メカニズムや影響に関する実証研究	大西 正輝
小島 駿	東京大学大学院	セマンティック・セキュアな通信プロトコル設計	金崎 朝子
野崎 雄斗 大嶽 匡俊 加藤 大地 廣岡 聖司	東京大学大学院	日本語の世界観を崩さないアニメの自動吹き替え	
笹崎 海利 松井 智一	奈良先端科学技術 大学院大学	行動認識に向けた発話による宅内マイクロ行動クラス表現の検討	
藤村拓弥	名古屋大学大学院	精度と安定性を両立した異常音検知手法の開発	井本 桂右
塩原 楓	東京大学大学院	動画と自然言語を繋ぐ基盤モデルの創成	牛久 祥孝
藤井 亮宏	東京大学大学院	深層学習を使った条件付き逆問題解法によるマテリアル開発で、カーボンニュートラル社会の早期実現を目指す	
染谷 大河 スコット アトム	東京大学大学院 名古屋大学大学院	マルチエージェント移動・行動系列が入力可能な大規模マルチモーダルモデルの開発	谷中 瞳
中田 亘 関 健太郎	東京大学大学院	音声対話システムにおける表現力豊かな音声合成のためのデータセット整備と大規模言語モデルの言語知識の活用	

本事業の詳細は、**覚醒プロジェクト 公式Webサイト**をご覧ください

URL：<http://kakusei.aist.go.jp/>

株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組みます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com